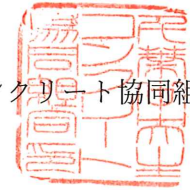


2020年7月吉日

需要家 各位

千葉中央生コンクリート協同組合



暑中期における生コンクリートの出荷について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素より格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、近年の異常気象の影響で、千葉県内におきましても最高気温が35℃を超える猛暑日が多くなっており、運搬時のトラックアジテータ車への直射日光の影響や、セメントの水和進行による発熱の影響で荷卸し時のコンクリート温度が35℃付近になるケースが報告されております。他地区におきましては、コンクリート温度が35℃を超えたことにより、持ち戻りが発生した事例もお聞きしております。甚だ恐縮ではございますが、当組合におきましても、場合によっては納入をご辞退させて頂くことがあることをご承知おき願います。

この厳しい状況を鑑み、各社対策を講じてはいるものの、設備等の具体的な対策にも限界があることから、当組合の組合員全社におきまして、社内規格のコンクリート温度を「35℃以下から38℃以下」に改正して、JIS認証機関の認証を受けております。

つきましては、当組合エリアにおきましても、荷卸し時のコンクリート温度が35℃を超える可能性があるという観点から、38℃以下での納入にご理解を頂きますよう宜しくお願い致します。

敬具